

平成 29 年度 事業報告

ライフケアセンター オークス東海

特別養護老人ホーム オークス東海(短期入所)

オークス東海デイサービス

居宅介護支援事業所

在宅サポートオークス東海

オークスライフサイエンス学院

社会福祉法人オークス・ウェルフェア

目次

特別養護老人ホーム オークス東海	1
なでしこユニット	6
ふじユニット	7
たけユニット	8
かしわユニット	9
たちばなユニット	10
あやめユニット	11
さつきユニット	12
うめユニット	13
ももユニット	14
安全・感染対策委員会	15
給食委員会	16
身体拘束廃止小委員会	18
行事・レク委員会	19
排泄委員会	20
環境美化委員会	21
接遇教育委員会	22
安全衛生管理委員会	23
特別養護老人ホーム オークス東海短期入所	24
オークス東海デイサービス	25
居宅介護支援事業所 オークス東海	26
在宅サポート オークス東海	27
オークスライフサイエンス学院	30

特別養護老人ホーム オークス東海

【入居・退去状況】

1、 特別養護老人ホーム利用状況

定員 90 名

市長村名	本期初日現員	入所人員	退所人員	本期末現員	
東海村	59	16	16	59	
ひたちなか市	18	5	6	17	
水戸市	1	0	0	1	
常陸太田市	1	1	1	1	
日立市	5	2	2	5	
那珂市	3	1	2	2	
城里町	1	0	0	1	
大里広域市町村組合	1	0	0	1	
いわき市	1	1	1	1	
県内計	88	25	27	86	
県外計	2	1	1	2	
合計	90	26	28	88	
内訳	男	15	8	3	20
	女	75	18	25	68

2、 特別養護老人ホーム稼働率

	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働率	96.8%	96.7%	98.6%	96.1%	96.6%	94.2%
実態数	2615人	2685人	2663人	2682人	2697人	2533人
在籍数	2700人	2735人	2672人	2774人	2790人	2690人
最大可能数	2700人	2790人	2700人	2790人	2790人	2700人

	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月
稼働率	94.0%	94.7%	93.0%	94.0%	97.0%	97.0%
実態数	2623人	2558人	2615人	2557人	2457人	2721人
在籍数	2772人	2663人	2745人	2767人	2505人	2765人
最大可能数	2790人	2700人	2790人	2790人	2520人	2790人

3、入居者介護度、年齢別状況

	人数	要介護度					年齢				平均	
		1	2	3	4	5	61～	71～	81～	91～	年齢	88歳
男	20		4	7	7	2		4	14	2	入所期間	2年7ヶ月
女	68	2	7	24	25	10		9	25	34	要介護度	3.48
計	88	2	11	31	32	12		13	39	36	申込者数	51人

平成30年3月

【各委員会の活動】

- 1、リスクマネジメント、QOL向上、質の高いケアの提供のために次の委員会活動を実施しました。
 - ・安全感染対策委員会、給食委員会、身体拘束廃止委員会、排泄委員会、行事レク委員会、環境美化委員会、接遇教育委員会、安全衛生管理委員会。
 - 詳細は各委員会の報告通りです。
- 2、施設全体の情報共有、施設運営のために次の会議を実施しました。
 - ・ユニット会議(毎月1回)、リーダー会議(毎月1回)、運営会議(毎月1回)、入居判定会議(毎月1回)
 また、法人全体の意見交換と情報共有の為に以下の部会を開催しました。
 - (看護部会)
 - 本年度より年3回開催しています。
 - (ケアマネ部会)
 - 毎月集会を行い、勉強会を実施しました。
 - (栄養士会)
 - H30年度より発足します。6月26日初回開催予定。

【研修】

外部・内部研修を通して、職員のスキルアップを図り、ケアの質の向上に努めています。年間の研修参加状況は別紙をご参照ください。

【地域との繋がり】

入居者様の社会生活を継続し、更に地域福祉の拠点としての役割を果たします。

1、地域交流

- ① 入居者様の外出支援、外泊支援。
- ② 施設見学の受け入れ
 - 見学のみ:14名
 - 入居検討者:48名
- ③ 地域園児や学生、市民活動ボランティアの慰問受け入れ
 - ・園児:おおぞら保育園(H29年10月5日)舟石川保育所(H29年11月1日)
 - ・東海南中: 総勢23名(H29年6月7、8日)
 - ・東海村教員対象介護体験:(H29年8月7、18日 3名)

- ・教員免許志願者介護体験：3名(H29年9月4日～8日)
- ・介護福祉専門学校生ボランティア実習：2名(H29年7月17日～21日)
- ・音楽ボランティア：毎月5回 ユニット巡回し活動
- ・見守り傾聴ボランティア(はーとふる)：実働11人
- ・清掃ボランティア：水戸信用金庫(H29年6月10日)
- ・施設行事慰問：新年会、納涼祭、敬老会で実施

2、相談活動、苦情相談

- ① 入居者様やご家族様からの相談・苦情には、すぐに対応し、安心して生活できる環境を整えます。
 - ・特養：2件、デイ：4件
- ② 地域の皆様からの福祉全般にわたるご相談にも随時対応いたします。
 - ・来所しての介護相談、電話での介護相談がありました。
- ③ 介護相談三者連絡会(年2回)において、介護相談員様との情報交換をしています。
- ④ 頂いた苦情については、対応策を協議し謝罪・報告・掲示しております。

【福利厚生】

社会福祉法人オークス・ウェルフェア合同親睦会の規約に基づいて活動する。

外部研修・内部伝達講習参加状況

月 日	研修名	参加者
5月15日	県北区ブロックケアマネ研修	渡邊 麻紀子
		橋本 栄子
5月24日	県北給食研究会	小澤 春香
		佐藤 渚
6月10日	「ユニチャーム排泄ケアセミナー」	植田 智香
		小野 彩菜
6月20日	第1回茨城県訪問介護員中央研修	長江 千春
7月20日	高齢者の身体の見方、情報の整理、伝え方	仁田 沙由香
8月30日	高齢者の栄養、摂食嚥下ケア	富岡 千栄
9月29日	高齢者の急変時の対応	田所 泰典
11月1日	高齢者ケア～基礎編～	工藤 正貴
12月7日	自信を持って寄り添う看取り期のケア	安嶋 克枝
7月13～14日	全国社会福祉法人経営青年会 「全国社会福祉法人経営青年会基礎講座」	墨谷 しのぶ
		内藤 さおり
7月21～22日	訪問看護新任管理者研修	祖田 光
7月25日	高齢者の権利擁護に必要な法律の知識について ～高齢者虐待や悪質商法を中心に～	山口 智子
		平林 由美子
8月4日	H29年度 総合的な生活支援体制について	平林 由美子
		山口 智子
8月21日	医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員等養成 研修フォローアップ研修	井上 悠
8月7日	メンタルヘルスケア研修	遠藤 晶子
9月20日	県北ブロック介護課長介護主任研修会	墨谷 しのぶ
8月23日～ 11月21日	専門研修過程Ⅱ	内藤 さおり
9月12日	県老協 福祉人材の確保と育成について学ぶ	内藤 さおり
9月29日	高齢者の急変時の対応	田所 泰典
10月18日	防災 講演会	数見 幸
10月19・20日	第21回社会福祉法人 青年会全国大会	内藤 さおり
		墨谷 しのぶ
10月23日	集団給食施設研修会	小澤 春香
		佐藤 渚

10月25日	2017年度 スマケアユーザー会	祖田 光
		中村 晴美
11月2日	H29年度 看護実務者研修	渡邊 麻紀子
11月11日	いばらき介護フェス2017	青木 里奈
		大和 梨恵
11月14日	介護リーダーのために必要な業務改善のための4つの力	桐原 奈緒也
11月14日	第3回 ひたちなかケアセッション 看取りを考える	平林 由美子
		山口 智子
		萩原 里佳
11月9日10日	地域における公益的な取組の展開に向けた「経営戦略構築・実践力」強化研修	祖田 光
12月4日 ～13日	H29年主任介護支援専門員フォローアップ研修	内藤 さおり
12月9日	H29年度茨城県社会福祉法人経営青年会	内藤 さおり
		墨谷 しのぶ
		桐原 奈緒也
		祖田 光
12月14日	H29年度介護職員によるたん吸引等実施研修事業	河西 里佳
		白土 ひとみ
12月19日	茨城県訪問介護員 中央研修	西尾 幸子
1月17・18日	茨城県社会福祉法人青年経営会 防災プログラム視察研修	内藤 さおり
		墨谷 しのぶ
2月21～23日	ユニットケア管理者研修	祖田 光
2月9日	水戸保健所認定調査員現認研修	平林 由美子
		萩原 里佳
2月23日	介護力向上研修会	植田 智香
3月1日	ひきこもりを考える地域の集い	山口 智子
		萩原 里佳
3月8日	H3年介護保険制度改正～介護支援専門員として理解しておくべき制度改正の内容～	内藤 さおり
3月31日	iroriの会	内藤 さおり
		萩原 里佳

なでしこユニット

	ユニット行事
4月	入居者様誕生日会
5月	外出レク(花木センター)
6月	
7月	納涼祭
8月	たこ焼きパーティー
9月	敬老会、入居者様誕生日会
10月	外出レク(しまむら)、園児交流会
11月	入居者様誕生日会、園児交流会
12月	クリスマス会
1月	新年会、外出レク(村松虚空蔵尊)、入居者様誕生日会
2月	節分、バレンタインレク(チョコレートフォンデュ作り)、入居者様誕生日会
3月	ひな祭り、入居者様誕生日会

・毎月1回 音楽ボランティア

ふじユニット

平成 29 年4月 外出レク(阿字ヶ浦公園／ファッションクルーズ)

平成 29 年 7 月 納涼祭

平成 29 年 9 月 敬老会・誕生日会

平成 29 年 10 月 外出レク(ファッションクルーズ)・誕生日会

平成 29 年 11 月 外出レク(海浜公園)・誕生日会

平成 29 年 12 月 クリスマス会・誕生日会

平成 30 年 1 月 新年会・誕生日会

平成 30 年 2 月 豆まき・誕生日会

平成 30 年 3 月 ひなまつり・誕生日会

月1回 音楽レク

月1～2回 書道クラブ 運動クラブ

たけユニット

	活動内容
平成 29 年 4 月	外出レク(阿字ヶ浦公園・ファッションクルーズ)・誕生日会
平成 29 年 7 月	納涼祭
平成 29 年 8 月	誕生日会
平成 29 年 9 月	敬老会・誕生日会
平成 29 年 10 月	外出レク(ファッションクルーズ)・誕生日会
平成 29 年 11 月	外出レク(海浜公園)
平成 29 年 12 月	クリスマス会・誕生日会
平成 30 年 1 月	新年会
平成 30 年 2 月	豆まき
平成 30 年 3 月	雛祭り・誕生日会

月1回音楽ボランティア・体操クラブ・習字クラブ実施

かしわユニット

	活動内容
平成 29 年 4 月	16 日外出お花見レク(静峰ふるさと公園)
平成 29 年 5 月	28 日お茶会(施設ウッドデッキ)・誕生日会
平成 29 年 6 月	26 日お茶会(施設ウッドデッキ)・誕生日会
平成 29 年 7 月	9 日納涼祭・23 日カラオケ大会
平成 29 年 8 月	壁掛けカレンダー製作開始・6 日カラオケ大会・誕生日会
平成 29 年 9 月	10 日敬老会・24 日カラオケ大会
平成 29 年 10 月	15 日カラオケ大会・誕生日会
平成 29 年 11 月	26 日カラオケ大会
平成 29 年 12 月	24 日カラオケ大会・25 日クリスマス会
平成 30 年 1 月	5 日新年会・14 日カラオケ大会
平成 30 年 2 月	3 日節分豆まき・誕生日会・11 日カラオケ大会
平成 30 年 3 月	4 日カラオケ大会・お誕生日会

※毎月一回、習字クラブ・体操クラブ・ボランティアによる音楽療法を実施。

たちばなユニット

《活動行事》

- 4月16日(日) 花見(静峰ふるさと公園)
- 5月30日(火) たこ焼きパーティー(ユニットリビング)
- 6月29日(木) お茶会(ユニットリビング)
- 7月 9日(日) 納涼祭(船場ホール)
20日(木) 七夕会(ユニットリビング)
- 8月31日(木) 音楽&お茶会(ユニットリビング)
- 9月10日(日) 敬老会(デイサービス)※ひょっとこ踊り・よさこい
- 10月 4日(水) 十五夜・生け花(ユニットリビング)
- 11月 1日(水) 十三夜(ユニットリビング)
14日(火) ドライブ(ジョイフル本田フードコート)
- 12月25日(月) クリスマス会(ユニットリビング)
- 1月 4日(木) 書き初め(ユニットリビング)
5日(金) 新年会(ユニット)※七福神
- 2月 3日(土) 節分・豆まき(ユニット)
13日(火) お茶会(ユニットリビング)
- 3月 4日(日) ひな祭り会(ユニットリビング)

※毎月1回 音楽療法

※入居者誕生日に誕生会

あやめユニット

	ユニット行事	特養行事(担当)
平成29年 4 月	お花見ドライブ(高場公園)	青木
平成29年 5 月	庭でお茶	安嶋
平成29年 6 月	七夕飾りの作成	根本
平成29年 7 月	散歩(ミニストップ・ソフトを食べる)	納涼祭 : 照沼
平成29年 8 月	手作業(作品作り)	安嶋・田中
平成29年 9 月	手作業(作品作り)	敬老会 : 安嶋・田中
平成29年 10 月	お菓子作り	照沼
平成29年 11 月	紅葉ドライブ(笠松) リース作り	ドライブ : 根本 リース : 照沼
平成29年 12 月	クリスマスリース作り 年賀状作成	年賀状 : 青木
平成30年 1 月	書初め	新年会 : 安嶋
平成30年 2 月	ひな祭り飾り作り	豆まき : 青木
平成30年 3 月	ひな祭り・お茶会	田中

さつきユニット

	ユニット行事	特養行事
平成 29 年 4 月	外出レク(お花見)	
平成 29 年 5 月		
平成 29 年 6 月		
平成 29 年 7 月	七夕会(短冊かざり)	納涼祭
平成 29 年 8 月		
平成 29 年 9 月		敬老会
平成 29 年 10 月		
平成 29 年 11 月	施設内周辺散歩	
平成 29 年 12 月	クリスマス会	
平成 30 年 1 月	新年遊び(かるた等)	新年会
平成 30 年 2 月	カラオケ	豆まき
平成 30 年 3 月	ひなまつり会	

うめユニット

《活動行事》

H29年 4月	・外出レク:お花見
5月	・お買い物:ミニストップ
6月	未実施
7月	・七夕会(飾り製作等)
8月	・たこ焼きパーティー ・室内花火鑑賞会(東海村花火大会)
9月	・お茶会
10月	・外出レク:紅葉狩り
11月	未実施
12月	・クリスマス会、たこ焼きパーティー (協力ユニットと合同にて)
H30年 1月	未実施
2月	豆まき
3月	未実施

※月一回、ボランティアによる音楽療法、誕生会あり

ももユニット

《活動行事》

4月	外出レク(お花見)
5月	未実施
6月	未実施
7月	七夕会(飾り製作等)
8月	未実施
9月	未実施
10月	外出レク(紅葉狩り)
11月	未実施
12月	クリスマス会、協力ユニット合同タコ焼きパーティー

H30年

1月	未実施
2月	豆まき
3月	未実施

※月一回、ボランティアによる音楽療法、誕生会あり

安全・感染対策委員会

月	活動内容	担当者	備考
4月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・前年度活動報告 ・内部研修①準備	高際	<外部研修>4/10・14 高際 『インフルエンザを含む日常の感染対策』 茨城東病院感染管理認定看護師 佐藤利香看護師招致し研修実施。
5月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修①→同じ内容で3回 ・内部研修②準備	野田	≪研修①内容≫給食・医務と合同 窒息、誤嚥時の対応(吸引)5/12・16・19 岩城・國谷・照沼・菊池
6月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修①反省会 ・内部研修②→同じ内容で3回	嘉村	≪研修②内容≫6/14・16・20 服薬介助について 這禽・大和・大内
7月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修②反省会	大和	
8月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	大内	
9月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③準備	小池	
10月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③→同じ内容で3回	照沼	≪研修③内容≫給食委員と合同 ・インフルエンザ・ノロ対策 ・吐物処理方法 10/6・13・20 嘉村・野田・長江・小池・菊池
11月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・内部研修③反省会	菊池	
12月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	長江	
1月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	這禽	
2月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討	國谷	
3月	・ひやりはっと、事故報告書の内容検討 ・年間活動の反省と次年度の活動計画	岩城	

給食委員会

食べるということは最も自然な栄養補給方法です。食べることによって食欲が満たされ、満足感が得られます。家族や友人など誰かと一緒に食卓を囲み、快い食事をする事で、栄養分の吸収力が高まり、ストレスの解消や心の安定も得られます。

ただ生きるためだけの食事を提供するのではなく、食事の意味、楽しさ、大切さといった「心の栄養」を提供することを目標とした活動を行いました。

① 年間活動・行事報告

4月 バイキング	10月 十三夜/バイキング
5月 こどもの日/バイキング	11月 バイキング
6月 バイキング	12月 冬至/クリスマス/バイキング/大晦日
7月 七夕/土用の丑の日/バイキング	1月 正月/七草粥/バイキング
8月 バイキング	2月 節分/バイキング
9月 敬老の日/十五夜/バイキング	3月 ひな祭り/バイキング

② 月別平均食事提供数(職員含む)

	朝食	昼食	夕食	合計
4月	91.6	127.5	92.0	311.1
5月	88.7	125.8	89.1	303.6
6月	90.7	125.8	91.1	307.6
7月	89.5	127.1	89.8	306.4
8月	90.2	126.0	90.6	306.8
9月	88.2	123.0	88.5	299.7
10月	88.2	124.0	88.5	300.7
11月	87.8	123.3	87.9	299.0
12月	87.0	120.2	87.3	294.5
1月	89.1	116.4	89.4	294.9
2月	84.0	113.9	84.2	282.1
3月	89.2	121.9	89.4	300.5
年間	88.7	122.9	89.0	300.6

③ 活動内容

月	活動内容	備考
4月	・定例会 ・年間活動計画立案・見直し	定例会 ・利用者(特養/ショート/デイ)の身体状況及び 栄養状態の報告、対策の検討 上半期施設内部研修 ・誤嚥/窒息時の対応(看護課と合同実施) 下半期施設内部研修 ・ノロウイルス対策勉強会 ・吐物処理の実践(安全・感染対策委員会と合同実施)
5月	・定例会	
6月	・定例会 ・上半期施設内部研修準備	
7月	・定例会 ・上半期施設内部研修実施	
8月	・定例会 ・上半期施設内部研修反省	
9月	・定例会	
10月	・定例会 ・下半期施設内部研修準備	
11月	・定例会 ・下半期施設内部研修実施	
12月	・定例会 ・下半期施設内部研修反省	
1月	・定例会	
2月	・定例会	
3月	・定例会 ・嗜好調査 ・本年度活動反省	

身体拘束廃止小委員会

月	実施日	内容
4月	11日	定例会議
	25～30日	実態調査
		新人研修
5月	9日	定例会議
	25～31日	実態調査
6月	24日～30日	実態調査
		施設職員研修①座学とグループワーク ※『高齢者虐待法の目的』を講義する 『高齢者の尊厳の保持』とはどういう意味なのかを学ぶ
		第1回身体拘束廃止大委員会
7月	11日	定例会議
	25～31日	実態調査
8月	8日	定例会議
	25～31日	実態調査
9月	12日	定例会議
	24～30日	実態調査
10月	10日	定例会議
	25～31日	実態調査
11月	14日	定例会議
	24～30日	実態調査
		施設内職員研修②意識調査とグループワーク ※『虐待の芽チェックリスト』の意識調査を基により良い言葉かけを学ぶ
12月	12日	定例会議
	25～31日	実態調査
1月	9日	定例会議
	25～31日	実態調査
2月	22～28日	実態調査
		第2回身体拘束廃止大委員会
3月	13日	定例会議
	25～31日	実態調査

行事・レク委員会

月	行事	内容
4月	①定例会 ②年間活動計画立案 ③お花見④誕生会	お花見ドライブ 各ユニットで外出し、お花見を兼ねた ドライブへ行きました。
5月	①定例会 ②端午の節句 ③誕生会	端午の節句 おやつに柏餅を出して頂き、ユニットの皆様で 召し上がって頂きました。
6月	①定例会 ②お茶会 ③誕生会	お茶会 各ユニット対応で、お茶会を行いました。
7月	①定例会 ②納涼祭 ③誕生会	納涼祭 納涼祭を開催し、入居者様、ご家族様ともにバイキング 形式での食事や出し物ゲームを楽しんで頂きました。
8月	①定例会 ②お茶会 ③誕生会	お茶会 各ユニット対応で、お茶会を行いました。
9月	①定例会 ②敬老会 ③誕生会	敬老会 職員によるダンスパフォーマンスを楽しんで頂きました。 米寿・白寿・百寿のお祝いを行いました。
10月	①定例会 ②紅葉ドライブ ③誕生会	紅葉ドライブ 各ユニットで外出し、紅葉の織り成す自然の 風景を楽しんで頂きました。
11月	①定例会 ②紅葉ドライブ ③誕生会	紅葉ドライブ 各ユニットで外出し、紅葉の織り成す自然の 風景を楽しんで頂きました。
12月	①定例会 ②クリスマス会 ③誕生会	クリスマス会 各ユニットにて、クリスマス会を開催し クリスマスプレゼントをお渡ししました。
1月	①定例会 ②新年会 ③誕生会	新年会 職員が七福神の格好に扮装し、ミニ神社にお賽銭や お詣りをして頂き、新年をお祝いしました。
2月	①定例会 ②節分 ③誕生会	節分 豆まきで、無病息災、幸福を願って頂きました。 昼食に、恵方巻きを召し上がって頂きました。
3月	①定例会 ②雛祭り ③誕生会	雛祭り 用意できるユニットは雛壇飾りを飾って頂きました。 昼食に、ちらし寿司と刺身を召し上がって頂きました。

排泄委員会

○メンバー:

鈴木(久)・鈴木(綾)・安嶋・斎藤(純)・高野・小林・山口・山崎・市毛

○定例会開催:毎月第1火曜日 14時より

◎活動方針:

- ・オムツ発注・補充・在庫管理業務を通し、最適な排泄環境を提供する。
- ・オムツ使用者の課題点を出し合い、意見交換や解決に向けての話し合いを行う。
- ・メーカー担当者招致による内部研修や、外部研修受講者の施設内勉強会を開催し、職員の排泄の知識と技術の向上を図る。

◎月別実施報告

- 4月 ①定例会 ②オムツ使用状況調査 ③年間活動計画立案
- 5月 ①定例会 ②オムツ使用状況報告 ③発注方法等検討
- 6月 ①定例会 ②内部研修準備(メーカー担当者招致による)
- 7月 ①定例会 ②内部研修実施(メーカー担当者招致による)
- 8月 ①定例会 ②補充・在庫管理方法検討
- 9月 ①定例会 ②上期の反省会
- 10月 ①定例会
- 11月 ①定例会
- 12月 ①定例会
- 1月 ①定例会
- 2月 ①定例会
- 3月 ①定例会 ②年間活動報告 年度末反省会

反省点

- ① 人事異動によりメンバーの変更があったが、協力しあい排泄業務に支障が無いように発注・在庫が行えた。
- ② メーカー様招致により、新人に対し内部研修を実施した。
- ③ テープ付きオムツのサイズの種類を増やし、利用者様の体型の変化に合ったオムツの装着が可能になった。同時に使わなくなったサイズをユニット間で融通し、在庫整理をした。
- ④ 利用者様にとって最適な排泄用品を考えることが出来た。利用者様の状況は絶えず変化しているので、今後も引き続き考えていきたい。

環境美化委員会

- 平成 29 年 4 月 委員会開催・外周掃除、ユニット加湿器清掃(依頼)、大掃除(通達)
- 5 月 委員会開催・外周掃除、ユニット加湿器清掃(実施)
- 6 月 委員会開催・外周掃除、大掃除実施、ユニットカーテン洗濯(依頼)
- 7 月 委員会開催・外周掃除、ユニットカーテン洗濯(実施)
- 8 月 委員会開催・外周掃除
- 9 月 委員会開催・外周掃除、大掃除(通達)
- 10 月 委員会開催・外周掃除
- 11 月 委員会開催・外周掃除・大掃除(実施)
- 12 月 委員会開催・外周掃除・加湿器掃除(依頼)
- 平成 30 年 1 月 委員会開催・外周掃除
- 2 月 委員会開催・外周掃除
- 3 月 委員会開催・外周掃除

その他適時、換気扇シート取り換え等。

接遇教育委員会

- 4月 ①定例会議
②年間活動計画立案
- 6月 ①定例会議
②職員対象公用車研修(6/5、6/7)
- 8月 ①定例会議

- 10月 ①定例会議
②職員対象公用車研修(10/2、10/4)
- 12月 ①定例会議
- 2月 ①定例会議

- 3月 ①定例会議
②年間活動報告、年間反省会

* 不定期、抜き打ちで月の担当者が職員の身だしなみチェックを行う。

内容

定例会議においては、身だしなみチェックにおける問題点の共有、チェック表の改訂、公用車研修の担当決め、参加者確認 等を行っている。

以上

安全衛生管理委員会

1、活動目的

- ・職場内の安全衛生管理を円滑に推進する。

2、参加者

- ・委員長…産業医 1 名
- ・委員…衛生管理者(2種)1名、委員 4名

3、活動内容

- ① 安全な職場環境の保持と職員の心身の健康管理のため以下の活動を行います。

月	活動内容
3月	・委員会 職場巡視 勉強会
4月	・委員会 職場巡視 勉強会 (新入職員研修)
5月	・委員会 職場巡視 勉強会
6月	・委員会 職場巡視 勉強会
7月	・委員会 職場巡視 勉強会
8月	・委員会 職場巡視 勉強会 ・健康診断、腰痛調査結果確認
9月	・委員会 職場巡視 勉強会
10月	・委員会 職場巡視 勉強会
11月	・委員会 職場巡視 勉強会
12月	・委員会 職場巡視 勉強会
1月	・委員会 職場巡視 勉強会 ・ストレスチェック ・健康診断、腰痛調査結果確認
2月	・委員会 職場巡視 勉強会

- ② 産業医との面談希望職員には、秘密保持された状況での面談を用意します。

「本人・家族に身体的・精神的な安心を提供する」をショートステイの基本理念とし、本人・家族のどちらもがショートステイを利用して良かったと感じることが出来るよう、活力のある有意義なサービスの提供を目標にしていきました。

1. 活動行事(特養の行事含む)

- 4月 お花見ドライブ(上高場公園:桜)
- 5月 活動なし
- 6月 ドライブレク(石神城跡:あやめ・あじさい)
- 7月 納涼祭
- 8月 たこやき作り、東海村花火大会(居室より観賞)
- 9月 敬老会、外出レク(にじのなか)
- 10月 活動なし
- 11月 活動なし
- 12月 イルミネーションドライブ(佐和駅)Xmas会
- 1月 新年会
- 2月 節分・豆まき、バレンタインレク(チョコレートフォンデュ作り)
- 3月 活動なし

※毎月1回:音楽療法

2. 稼働率

4月	61.0%	5月	62.9%	6月	75.3%	7月	77.1%
8月	71.3%	9月	71.0%	10月	58.7%	11月	63.3%
12月	65.5%	1月	75.2%	2月	68.6%	3月	81.3%

オークス東海デイサービス

利用者の有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目標として、利用者、家族の要望に応じ、自宅での生活が維持できるよう支援してきました。

1、活動行事

- 4月 お花見お出掛け、バイキング
- 5月 手作りおやつ、バイキング
- 6月 中学生介護体験、外食(魚米)、買い物レク、バイキング
- 7月 パン作り、学童交流会、バイキング
- 8月 夏祭り、外食(すぎのや)、バイキング
- 9月 敬老会、ボランティア慰問、バイキング
- 10月 運動会、避難訓練(10月26日)、バイキング
- 11月 外出(東海ジャスコ)、バイキング
- 12月 忘年会、ボランティア慰問(高齢者クラブ)、バイキング
- 1月 新年会、ボランティア慰問(華舞)、外食(魚米)、バイキング
- 2月 節分イベント、ジャズバンド慰問(東海高校)、バイキング
- 3月 ひな祭りイベント、学童交流会、バイキング

2、稼働率

4月	80.9%	5月	85.9%	6月	91.3%
7月	89.0%	8月	87.6%	9月	91.7%
10月	89.5%	11月	85.9%	12月	84.1%
1月	79.3%	2月	75.1%	3月	75.0%

居宅介護支援事業所 オークス東海

1. 契約者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	4	2	3	4	3	1	7	3	5	3	5	3
支援	2	0	2	0	1	2	2	1	1	0	0	0

2. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	58	59	58	56	59	63	63	60	65	64	64	63
支援	29	27	27	28	28	29	30	31	30	28	30	28

3. 新規利用・復帰利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	3	4	2	1	3	8	2	1	7	3	1	3
支援	2	0	2	1	1	1	2	1	1	1	0	0

4. 利用中止・休止者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	1	3	3	3	0	4	2	4	2	4	1	4
支援	0	2	3	0	1	0	1	0	2	3	2	2

5. 認定調査委託件数:ひたちなか市役所、東海役場(H30年3月分から)より依頼

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	3

6. 営業活動について

- ①東海役場やひたちなか市役所窓口に、当事業所のパンフレットを設置。
- ②地域包括支援センターへ当事業所の新規受け入れ可能状況を伝え、新規獲得に繋げる。

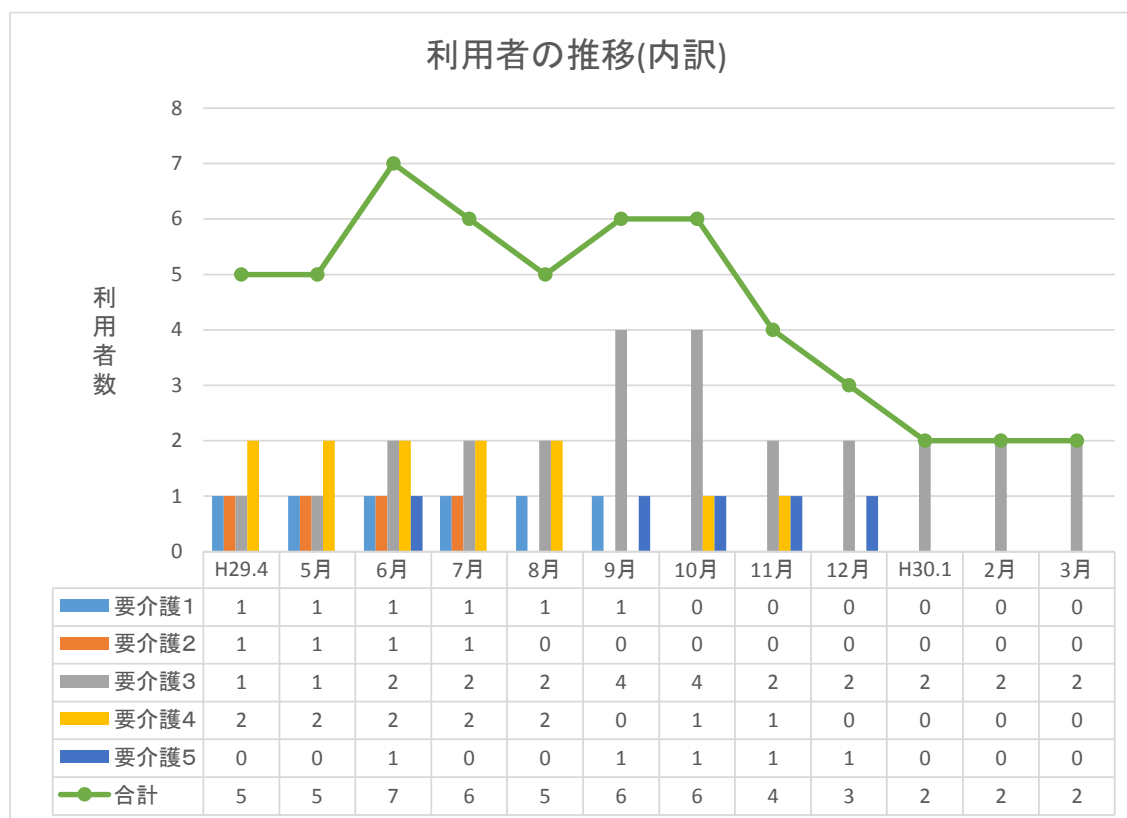
7. 人員配置について

H29年9月に常勤1名が入職となり、常勤4名体制となる。

1. 運営状況報告

(1) 定期巡回サービス利用状況

① 介護度別利用者数、推移(内訳)



【利用開始の理由】

- ・在宅での看取り(3)
- ・主介護者の怪我(1)

【利用停止の理由】

- ・施設入居(3)
- ・死亡 (4)

② 1日あたりの訪問回数(介護度別)

介1:2.5回 介2:1.5回 介3:3.6回 介4:4.1回 介5:6回

※訪問看護:介3(週1回:健康管理、リハビリ)

介5(毎日:点滴)

③ 提供時間、時間帯

30分以内(1,2分の安否確認～30分程度の簡単な調理・食事提供)

日中(8-18):62% 夜間(18-22):24% 深夜(22-6):1% 早朝(6-8):13%

④ 提供ケア種別、内容

安否確認・見守り 服薬介助・確認 点眼 食事の提供 水分の促し
排泄介助(オムツ交換・トイレ誘導)

⑤ コール対応(H29.4～H30.3)

時間帯	早朝(6-8)	日中(8-18)	夜間(18-22)	深夜(22-6)
コール件数	1件	126件	3件	6件
内容	失禁(1)	失禁(123) 安否確認(2) 呼吸苦(1)	失禁(3)	失禁(2),転倒(1) 安否確認(1) 誤報(2)
対応状況	訪問対応	訪問対応(125) 救急搬送(1)	訪問対応(3)	訪問対応(4) 会話対応(2)

※失禁:オムツ交換対応。尿量多いため、その都度連絡をもらって訪問している。

他に排便時にもコール対応にしている。

(2) 訪問看護

- ・現在、訪問看護は定期巡回の一体型としてのみ提供している。その際、主治医の指示や当事業所の介護従事者と連携しながら、自宅での健康状態の観察・療養上のお世話や日常生活動作の訓練を行っている。

(3) 訪問介護サービス(介護予防・日常生活支援総合事業含む)

- ・定期巡回・随時対応型サービスに適さない訪問サービスについては、訪問介護サービスで対応している。また、状態の回復から定期巡回・随時対応型サービスから訪問介護サービスに移行しているケースもある。

2. 利用者の生活の質の向上

① 安定した生活

- ・食事支援と服薬確認のセットなどのケア内容で、1日3回の食事のタイミングで訪問することで、独居であっても安定した生活が可能となる。さらに、生活のリズムが生まれている。
- ・状態が不安定な利用者でも、サービス提供をしながら必要なサービス回数・内容等に関するアセスメントを行い、そのアセスメントに応じてサービス回数・内容等を適時変更することで、利用者の状態安定に結び付いている。

② 不安解消

- ・1日複数回の訪問を行うことによって、徐々に人との関わりに自信を取り戻していくことができ、通所サービスの利用につながったというケースがある。結果として本人の孤立と不安解消にもつながっている。

③ 状態改善

- ・寝たきりの利用者に対して、週に2回の訪問看護(リハビリ)と1日複数回の定期巡回サービスの訪問で継続的にケアを行うことにより、立ち上がり・歩行までに状態が改善している。

3. スタッフの質の向上

- ・訪問介護と医療の連携についての研修に参加
- ・喀痰吸引等第3号研修(在宅の特定の対象者に対する喀痰吸引等)受講

4. 定期巡回・随時対応サービスのPR活動

- ・介護・医療連携推進会議(運営推進会議)に随時参加していただいている病院のSWや地域の民生委員の方、訪問看護事業所などに対して、事例を通して適している利用者像や有効なサービスの利用方法等を発信して、定期巡回・随時対応型サービスの普及活動に努めている。

介護職員初任者研修養成講座

①研修期間

第1回 平成29年8月1日～平成29年10月31日

第2回 平成30年1月23日～平成30年3月27日

③ 研修科目及び研修時間数（15日間 130時間）

科目	スクーリング	自宅学習
1. 職務の理解	6時間	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	1時間30分	7時間30分
3. 介護の基本	3時間	3時間
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	1時間30分	7時間30分
5. 介護におけるコミュニケーション	3時間	3時間
6. 老化の理解	3時間	3時間
7. 認知症の理解	3時間	3時間
8. 障害の理解	1時間30分	1時間30分
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	63時間	12時間
10. 振り返り	4時間	

③各科目の指導目標

1. 職務の理解:介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのように仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。
2. 介護における尊厳の保持・自立支援:介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解してもらう。
3. 介護の基本:介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解でき、介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができるようにする。
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携:介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として、最低限知っておくべき制度の目的、サービスの流れ、各専門職の役割と責務について、その概要のポイントを列挙できるようにする。
5. 介護におけるコミュニケーション技術:高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者としての最低限の取るべき行動例を理解できるようにする。
6. 老化の理解:加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解できるようにする。
7. 認知症の理解:介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則を理解できるようにする。

8. 障害の理解:障害の概念とICF、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について列挙できるようにする。
9. こころとからだのしくみと生活支援技術:①介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。②尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。
10. 振り返り:研修全体を振り返り、研修を通じて学んだことについて再認識を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢と学習課題の認識を図っていく。

④受講生人数(定員10名)

第1回 (2名)

第2回 (1名)

⑤受講料

69,000円(テキスト代含む)

⑥講師人数

13名

⑦その他

第1回目の修了テストについて、1名追試を実施しています。

第2回目の研修日程について、受講生の希望により、日時を変更して対応しています。